

若者就職支援機関について

ハローワーク（一般相談窓口、県内 15 か所）〔職業相談・職業紹介等〕

連絡先（広島労働局HP）http://hiroshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hello_work/hello_main.html

ひろしましごと館

＊新卒応援ハローワーク〔新卒者の職業相談・職業紹介等〕

電話：082-224-1120

＊若年者相談コーナー〔適職診断等による就業支援〕

電話：082-224-0121

地域若者サポートステーション〔若年無業者の職業的自立に向けた相談等〕

＊広島地域若者サポートステーション（若者交流館）

電話：082-511-2029

＊ひろしま北部若者サポートステーション

電話：082-516-6557

障害者就労支援機関について

発達障害者支援センター

発達障害者のライフステージに応じた発達支援、就労支援等を行う。

＊広島県発達障害者支援センター

電話：082-490-3455

＊広島市発達障害者支援センター

電話：082-568-7328

ハローワーク（障害者相談窓口）（県内 15 か所）

障害者に対して、職業相談、職業紹介等の就職支援を行う。

連絡先（広島労働局HP）http://hiroshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hello_work/hello_main.html

広島障害者職業センター

電話：082-263-7080

職業カウンセラー等を配置し、ハローワークとの連携の下、障害者に対する就職相談、職業評価等を行う。

障害者就業・生活支援センター（県内 7 か所）

関係機関と連携しながら、障害者の就業及び就業に伴う生活に関する指導・助言、職場準備訓練のあっせんを行う。

連絡先（広島県HP）<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/62/syugyou-seikatsushien-center.html>

就労移行支援事業所（平成 26 年 6 月現在 県内 68 か所）

就労を希望する障害者に、生産活動等の機会を通じて、就労に必要な知識・能力の向上のための訓練等を行う。

広島障害者職業能力開発校

電話：082-254-1766

国が設立し広島県に運営委託されている中・四国地方の障害者を対象とした障害者職業能力開発校で、CAD技術科・情報システム科等 6 科の設置と、県内民間教育機関等への委託訓練による支援を行う。

発達障害を知っていますか？

発達障害は、発達障害者支援法において、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。

【発達障害の特性】

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害

対人関係やコミュニケーションの障害、パターン化した興味や活動という特徴があります。

学習障害

全般的な知的能力に遅れはないとされていますが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力のうち特定のものの習得が困難な特徴があります。

注意欠陥多動性障害

不注意や、多動・衝動性を主な特徴としています。

※「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害」については「自閉スペクトラム症 / 自閉症スペクトラム障害」、「学習障害」については「限局性学習症 / 限局性学習障害」、また、「注意欠陥多動性障害」については「注意欠如・多動症 / 注意欠如・多動性障害」という診断名も使われています。



広島県

自分を知り

自分らしく働くために

～あなたに知ってほしいこと～

このようなことはありませんか？

就職が決まらない



- ☐ 仕事に就くイメージを持つことができない。
- ☐ 特定の職種の面接しか受けない。
- ☐ 履歴書を書き直すことが多い。
- ☐ 会社に面接等のアポイントの電話ができない。
- ☐ 面接官の話を聞けない、一方的に話をしてしまう。

就職したが長続きしない



- ☐ 特定の業務にこだわり、他の業務をこなせない。
- ☐ 電話での応対や接客が苦手である。
- ☐ 常に上司の指示がないと動けない。
- ☐ 上司・同僚等への立場に応じた振る舞いが苦手である。
- ☐ 相手の気持ちを読み誤ってしまう。

必要な支援を受けて、就職に向けて動きだそう！！

発 行：広島県商工労働局雇用労働政策課 〒730-8511広島市中区基町 10-52 電話：082-513-3425
作成受託：公益社団法人広島県就労振興センター 〒732-0816広島市南区比治山本町 12-2 電話：082-252-3100

あなたに合った支援を受けましょう。

「うまくいかない」原因には、経験不足の問題等様々考えられますが、発達障害が背景にあることもあります。
あなたに合った支援を受けることで、就職がしやすくなります。

このようなことはありませんか？

学生等就職の経験がない方

職種の選択

- ・仕事に就くイメージを持つことができない。
- ・特定の職種の面接しか受けない。
- ・こういった仕事をやりたいのか分からない。
- ・自分の能力や資格が会社の求めているものと一致しない。

就職活動

- ・どのように進めてよいか分からない。
- ・履歴書を書き直すことが多い。
- ・会社に面接等のアポイントの電話ができない。

面接

- ・約束の時間に遅れる。
- ・服装や身だしなみを整えられない。
- ・面接官の話を聞けない、一方的に話をしてしまう。

就職の経験はあるが長続きしない方

職務遂行

- ・特定の業務にこだわり、他の業務をこなせない。
- ・電話での応対や接客が苦手である。
- ・常に上司の指示がないと動けない。
- ・何事にも時間がかかる。
- ・企画を立てることが苦手である。

対人関係

- ・上司・同僚等への立場に応じた振る舞いが苦手である。
- ・相手の気持ちを読み誤ってしまう。
- ・共同作業が苦手である。

背景として考えられること

経験・意欲・適性の問題

- ・アルバイト等、就労経験が不足している。
- ・仕事に対して意欲が低い。
- ・求められている能力とのギャップがある。など

発達障害の特性と同様の困難さがある

- ・他者の考えに気付くことが苦手である。
- ・計画を立てることが苦手である。
- ・言葉の意味を理解するのではなく、字義どおりに解釈してしまう。
- ・人や音、におい等の環境に刺激を受けて、突発的な行動をしてしまう。
- ・全体よりも細部に注目してしまう。
- ・自分のイメージと違うことに対して柔軟に行動できない。
- ・手先を使った細かい作業等に不器用さが見られる。
- ・感覚の過敏さ、鈍感さがある。
- ・記憶の維持が困難である。
- ・感情のコントロールが難しい。など

必要な支援を受けましょう。

支援機関で支援を受ける。

- ・就労経験の不足が要因であれば、地域活動や職場実習等を経験する。
- ・学校や若者就職支援機関に課題を相談し、問題解決を図り意欲を高める。
- ・相談を通じて自分の得意なことや苦手なことを理解し、自分に合った職業を見つける。

発達障害者支援センターで課題整理を行い、医療機関の受診を検討する。

発達障害の診断【医療機関】

発達障害者支援センターで支援を受ける。

- ・生活や就職活動での困難さを明らかにすることにより、つまずきや失敗を予防し、精神的苦痛や不応状態を軽減する。
- ・自分の得意なこと、不得意なことを理解し、就職活動に役立てる。

障害者就労支援機関で支援を受ける。

- ・障害に配慮した支援（職業訓練等）を受ける。
- ・障害に配慮のある企業への就職に向けて、職場実習等の準備を行う。

◎ 在学中の利用可

★ 在学中には利用不可

支援機関

学校のキャリアセンター、学生課等 ◎

若者就職支援機関

ハローワーク（一般相談窓口・新卒応援） ◎

若年者相談コーナー ◎

地域若者サポートステーション ★

障害者就労支援機関

発達障害者支援センター ◎

ハローワーク（障害者相談窓口） ◎

広島障害者職業センター ◎

障害者就業・生活支援センター ◎

就労移行支援事業所 ★

障害者職業能力開発校 ★

就

職

Aさんの場合



面接のとき、面接官から質問された内容を考えているうちに、よく分からなくなり、答えられなかった。質問されたこと以外のことについて一方的に話してしまった。

- ・言われたことを覚えていることができない。
- ・相手の意図や状況を読み取りにくい。
- ・自分の興味のある話題を一方的に話してしまう。など、発達障害と共通する特性が見られる。

失敗の原因が発達障害によるものではないかと考え、**発達障害者支援センター**に相談した。発達障害者支援センターでは、「障害が要因となっている可能性もある。障害が要因だった場合、周りの人の支援を受けながら働くという方法もある。」とのアドバイスを受け、医療機関を受診することとした。医療機関で発達障害と診断された後、障害への配慮を行っている企業での就職を目指し、障害者就業・生活支援センターの支援を受けながら職場実習を行い、障害に配慮のある企業に就職することができた。